

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 社会体験活動を通じた青少年健全育成のための新たな仕組みづくり | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 102 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 4,316 | 千円 | 1,800 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---------------|---|--|----------------|------------------|---------|-----------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 青少年が地域において日常的・継続的に社会体験活動を行うことができる環境づくりをはじめ、放課後児童クラブの運営や地域の青少年活動等をサポートすることができる青年リーダーの養成などの新たな仕組みづくりにより、より多くの青少年に社会体験活動の機会を与えることで、健全育成を図ります。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 青少年が取り組める体験活動の情報を、パンフレットやウェブサイト等で効果的に発信します。子どもたちが地域においてさまざまな体験活動を行うためのモデルとなるクラブを実施します。青少年育成団体等に所属する青年リーダーの育成やネットワークづくりを行います。青少年育成団体相互の連携や情報共有、共同事業実施のための連絡会議を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数 | 5,518 人 | 2,600 人 | 5,339 人 | 205.3 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 青少年ボランティアステーションにおけるコーディネートにより、ボランティア活動に取り組んだ小学生・中学生・高校生等の延べ人数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） | | | | | | |
| 青少年の社会体験活動の充実 | - | 社会体験活動の機会や場の提供 | 社会体験活動の機会や場の提供 | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 青少年にさまざまな体験活動の機会や場を提供するための情報発信の強化や、子ども地域体験活動クラブのモデル実施、青少年育成シニアリーダー会議”ぼんて”の組織化等、青少年の体験活動の推進に向けた新たな仕組みづくりは、青少年の体験活動不足が問題視される中、有効な取り組みです。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 青少年育成団体やNPO団体等との協働・連携により、経済的・効率的に事業を実施できています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 今後も、青少年の健全育成活動を担う青年リーダーの育成をはじめ、青少年育成団体や各種事業の社会的認知を高めるため青少年体験活動等活性化事業に取り組み、青少年の体験活動の有益性の啓発をより一層強めていきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | |
|-----|-------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|--------|
| 事業名 | 青少年の家の整備・充実 | | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | | 102 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 |
| | | 49,103 | 千円 | 32,509 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 |
| | | | | | | | | 子ども家庭局 |
| | | | | | | | | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--|--|---|---|-----------|---|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 青少年の家は、施設周辺の豊かな自然の中で、野外活動や集団生活などの体験を通して、規律、協同、友愛、奉仕の精神を学び、心身ともにたくましい青少年の育成を目的とした社会教育施設です。 近年の少子化などの社会の変化や青少年の様々な体験不足が言われるなか、市民の新たなニーズや施設の老朽化に対応するため、青少年の家の整備、充実を推進します。 | | 活動実績 | 施設改修事業として、夜宮青少年センターの受変電設備の更新を行いました。また、かぐめよし少年自然の家屋根防水工事を実施しました。 | | |
| 活動計画 | 青少年の家の継続的な利用に向け、施設の安全性の確保や利用者の快適性の向上のため、計画的な補修工事等を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 青少年の家の利用者数 | 183,147 人 | - | 187,806 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 青少年の家の利用者数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) | | | | | | |
| | 計画的補修工事等の実施 | 平成22年度は足立青少年の家のトイレ改修を実施しました。 | 各施設の状況を把握し、安全面等考慮のうえ緊急度の高い箇所から工事を実施します。 | 順調 | やや遅れ | 順調 | |
| 整備工事等を計画的に実施するなど、施設の利便性の向上を図るとともに、円滑な施設運用を図ります。 (最終目標と最終年度) | | | | | | | |
| | | | | | 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 青少年の家については、市内中学1年生全員を対象とする「ふれあい合宿」などの学校利用を含め、一般利用もあわせ、多くの利用があり、各施設において機能整備を進めることにより、施設での事業も円滑に実施されており、快適性に対する利用者の評価も高まっています。 施設設置後、かなりの期間を経過しており、建替えなどを検討する時期に来ているが、新築などには財政的にきわめて困難な状況のため、適切な手法による計画的な機能整備を行うことで、長寿命化を図り、活用していくこととします。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 必要かつ適切な投資により、機能整備を行い、ある程度の期間、確実に施設を運用できる見込みを確保した上で指定管理制度を導入しており、管理運営費用の削減につながっています。 指定管理へ移行した施設においても、施設の根幹部分については、施設設置者である本市の責任が免れないため、今後の利用にあたっての維持・快適性の向上には、引き続き市の関与が必要であり、適切な発注による計画的な機能整備を進めていきます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>ひきつづき、学校受け入れ事業のほか、主催事業などを通じて、青少年の健全育成のため施設を利用していきものと、計画的な補修等を行っていきます。</p> <p>平成24年度の大規模補修としては、かぐめよし少年自然の家のトイレ改修、排水管の補修を行い、利用者の利便性を高めるとともに、周辺環境にも配慮し、施設の安全性の向上を図ります。</p> <p>なお、宿泊研修施設としての基幹設備である、ボイラーの老朽化が進んでおり、更新を検討する必要があります。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 児童文化科学館の整備・充実 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 102 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1,995 | 千円 | 8,000 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--------------------|---|--|---|--------|--|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 児童文化科学館では、科学教育の振興、児童文化の向上を図るため、プラネタリウム、展示物、科学教室などの体験を通じた科学事業、演劇会などの文化事業を開催しています。また、展示物やプラネタリウム機器等についても整備を行います。 | | 活動実績 | 平成23年度は、児童文化科学館の再生活用に向け、内部検討を進めてきました。所管局としては、方向性を固めていたが、児童文化科学館も含む公共施設全体にかかる見直し作業が年度中に開始され、その方向性も踏まえて最終的な結論とすることとなったため、再生活用に向けた平成24年度当初からの作業は、スケジュールの見直しを行うこととなりました。 | | |
| 活動計画 | 施設のあり方について検討を行っており、展示物やプラネタリウム機器等の整備についても併せて検討します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 利用者数 | | 97,905 人 | 利用者数の増 | 98,437 人 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 児童文化の向上及び科学教育の振興を図ることを目的とし、「天文学習」「科学教育」を実施します。 （最終目標と最終年度） | | | | | 大変順調 | |
| 児童文化科学館のあり方の検討について | | 耐震診断を実施、補強工事により継続利用が可能で | 施設のあり方について方向性の確認作業を実施しました。今後は他都市の状況も踏まえ検討します。 | - | 順調 やや遅れ 遅れ | | |
| | | 施設整備あるいは移転等の方向性が示されれば、工事費、展示物更新費等の経費を要するが、市内小学4年生向けの「天文学習」の充実が図られるほか、一般の入場者の増加も期待できるため、耐震診断の結果をふまえ、施設のあり方について方向性を確認します。 （最終目標と最終年度） | | やや遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 児童文化科学館のあり方については、耐震診断の結果もふまえ、検討を行っています。耐震対応は平成27年度までが期限となっており、平成24年度中に施設のあり方について方向性を決定する必要があります。現状では様々な要因があり、最終的な結論には至っていません。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 施設のあり方については「経済性」「効率性」を含め検討中です。他都市の状況等も踏まえ、コストや立地条件等を十分に検討する必要があります。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 平成23年度の内部検討の結果と、平成24年度に方向性が示される行財政改革（公共施設マネジメント）の結果を踏まえながら、市内あるいは地域で唯一の天文科学施設として、児童文化科学館の再生活用に向けた方針を決定します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 児童館の事業の充実 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 102 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 552,365 | 千円 | 578,485 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 子育て支援課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|--|--|---------|----------|------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 児童の健全育成を促進する地域の拠点施設である児童館は、現在、小学生の利用が中心となっていますが、未就学児を持つ保護者からのニーズも高まっています。そこで、子育て支援の一環として、小学生の利用が少ない平日の午前中などに、未就学児の親子向けの講座や教室を実施し、充実を図ります。また、中高生などの居場所となるよう、行事プログラムの開発等を行います。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 子育て家庭を支援するための事業の充実に取り組みます。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 | |
| | 未就学児の利用者数 | 35,073 人 | 利用者数の増加 | 37,853 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 利用者数の増加が、利用者の満足度の高い事業であることを示すことになるため指標としました。 (最終目標と最終年度)利用者数の増加 | | | | | | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | 順調 | 順調 | |
| | | | | やや遅れ | | | |
| | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 紙芝居等の読み聞かせや、親子体操、リズム遊び等の未就学児の親子を対象とした講座や教室を実施したことで、利用者が増加しています。有効性の高い取り組みと考えています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 児童館の運営については、指定管理制度を導入しており、経済的・効率的な運営を行っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 未就学児の親子向けのプログラムの充実を図り、より多くの未就学児の利用を促進するとともに、中高生向けのプログラムにもモデル的に取り組んでいきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 青少年ボランティアステーション推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 103 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,348 | 千円 | 2,631 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|--|---|---------|---------|--------------------|--|------------------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 青少年の成長に欠かすことができない様々な体験活動等を通じ、青少年が社会の構成員として規範意識や社会性、協調性等を身に付けることができるよう、青少年ボランティアステーションを拠点に、青少年のボランティア体験活動を支援・促進します。また、ひきこもりや非行等の課題を抱える少年の社会的自立を支援するため、社会参加ボランティアプログラムを実施します。 | | | 活動実績 | 下記の活動以外に、義務教育期の段階から、ボランティアという社会貢献に対する意識を醸成することが重要と考え、広報・普及活動の一環として「出前授業」を実施しました。平成23年度は、小学校2校・中学校2校で合計417名の児童生徒を対象に実施しました。 | |
| 活動計画 | 年間を通じて、ボランティア体験活動情報の提供と活動調整、活動時の支援を行います。7～8月は、小・中・高校生等を対象に「夏休みの青少年ボランティア体験」を実施します。青少年ボランティアクラブ「かけはし」及び「中学生クラブ」の定例活動を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | |
| | ボランティア体験活動者数(延べ人数) | | 5,518 人 | 2,600 人 | 5,339 人 205.3 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 青少年ボランティアステーションにおけるコーディネートにより、ボランティア活動に取り組んだ小学生・中学生・高校生等の延べ人数が、本事業の活性化を図る指標と考え掲げました。 (最終目標と最終年度) 3,200人(26年度) | | | | | | |
| | | | | | | 順調 | 大変順調 |
| (最終目標と最終年度) | | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 平成23年度の「夏休みの青少年ボランティア体験」では、申込者数1300人(昨年度+242人)、決定者数978人(昨年度+154人)となり、多くの参加を得ることができました。また、事業全体を通してボランティア活動を行った青少年の数は着実に増加しており、青少年にとって有効な社会体験活動の機会や場の提供ができています。現代の青少年に不足しがちな様々な体験活動を、ボランティア活動への参加を通して経験させる本事業は、豊かな社会性や規範意識を育む等「人づくり」のためにも大変有効です。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 平成22年度から、夜宮青少年センター内にあった青少年ボランティアステーションの組織を子ども家庭局青少年課に移管しました。そして、青少年課所管の様々な事業を連携して実施することにより、青少年ボランティアリーダーの養成等、効率的な事業実施を図ることができました。また、子ども若者応援センターYELL等からの自立支援や家庭裁判所等からの立ち直り支援に向けた社会参加ボランティア活動も、関係機関との協力と連携を図りながら実施することができています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 青少年にとって、家庭や地域における様々な体験活動の不足が、「社会とのかかわりの自覚」や「自己の確立と向上」等を阻害しているといわれています。今後も、ボランティア活動をはじめとした豊富な体験活動プログラムの提供と活動支援等の取組を進めていくことが必要と考えます。中心事業の一つである「夏休みの青少年ボランティア体験」の事業PRや新たなプログラムづくり(例:親子ふれあいルームの拡充)に力を入れ、ボランティア体験活動者にとって有意義な活動となるよう一層の充実を図ります。また、小・中学生等を対象にした「出前授業」のPRを年度当初に行うとともに、実施の拡充を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 青少年施設ボランティア養成事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 103 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|---|---|-------|-----------------|------------------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 青少年施設をボランティア活動の場として積極的に提供するとともに、ボランティアに関する研修等を行うことで、青少年の健全育成や社会参加等を支援します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 各青少年施設において、ボランティアとしての心得などに関する講義や、活動プログラムに関する技術や知識に関する講習などの施設ボランティア研修会を実施します。 平成23年度以降、青少年体験活動等活性化事業の中で青年リーダーの育成事業と併せてより効果的に事業を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | |
| | 青少年施設ボランティア登録者数 | | | | | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 青少年施設で活動するボランティアを養成することを目的とします （最終目標と最終年度）300人（26年度） | 259 人 | 270 人 | 235 人 87.0 % | 大変順調 | | |
| | | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 青少年施設ボランティアは、青少年施設における主催事業等に欠かせない人材となっており、またボランティア自身の社会体験活動の場としても非常に有益であるなど、高い効果があります。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 青少年施設ボランティアにかかる必要経費（保険代、交通費等）が予算の大半であり、また青少年施設の主催事業がそのまま施設ボランティアの活動の場となることから、事業の費用対効果は高いです。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 研修事業については、青少年体験活動等活性化事業の中での青年リーダーの育成事業と併せて、より効果的な実施を目指します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 北九州市青少年ボランティア奨学金事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 103 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,410 | 千円 | 2,335 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|----------|--|---|-----|--------------|------------------|------------------------|-----------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 様々なボランティア等の社会貢献活動への青少年の参加促進と人材の育成・確保を目指し、学業との両立を支援することを目的に、優れた活動を行っている生徒・学生に対して奨学金を給付します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は、下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 青少年のボランティア等の社会貢献活動の活性化に向けて、補助金を給付します。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 | | |
| | 奨学金受給者数 | | | | | | | |
| | ボランティア等の社会貢献活動を行う青少年の裾野を広げ、質の高い活動を行う青少年を発掘し、広く社会的認知を高めます。 (最終目標と最終年度) 20人(26年度) | 18人 | 20人 | 19人 95.0% | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 19人の奨学生(申請者33人)に対して奨学金を給付し、奨学生の活動報告会や青少年アワード(奨学金授与式+青少年ボランティアリーダーズ認証式等)を開催する等、当初の計画どおり進捗しています。具体的な活動内容は、10月:奨学生募集期間、1月12日:選考検討会、3月10日:活動報告会+青少年アワード、3月:奨学金交付としています。これらの活動を通して、青少年のボランティア等の社会貢献活動の活性化に資することができています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | ボランティア活動を行うことが、青少年自らの社会活動にもつながっています。青少年の体験活動不足が問題視される中、ボランティア活動に取り組む青少年の増加を図るだけでなく、青少年による体験活動の有益性を啓発する意味においても、時機に合った事業です。そして、青少年ボランティアステーション推進事業との連携等により、効率的に事業を実施することができています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 高校・大学のボランティアサークルやボランティア関係団体、NPOや市民活動団体等への積極的な事業PRと奨学生の表彰等を行い、青少年による社会貢献活動の社会的認知や評価を高めます。また、北九州市子ども若者応援サイトや子育てマップ北九州のHPを活用した積極的な事業PR、奨学生選考申請書の見直し等を検討します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 野外教育等推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 103 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,307 | 千円 | 1,982 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|--|-----------|-----------|----------------|-----------|------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 青少年施設での自然体験活動や共同生活体験等を通して、青少年が自然を大切にできる心や協調性等の「生きる力」を身に付けることを目的に、登山やキャンプ、野外調理等の野外教育事業を実施します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 青少年の健全育成に有効であると考えられている野外等での集団生活や体験活動等を行うことで、子どもたちが規律・協同・友愛・奉仕の尊さを学び、心身ともにたくましく育つことや、青少年に交流と研さんの場を提供することで、幅広い人間形成や学習活動を促進することなどを目的とする事業を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 4青少年宿泊施設の利用者数 | | 114,919 人 | 120,500 人 | 115,192 人 | 95.6 % | 大変順調 |
| | 利用者数の増加をもって当該事業の活動指標として掲げました （最終目標と最終年度） 122,000人（26年度） | | | | | | |
| | | | | | | 順調 | 順調 |
| （最終目標と最終年度） | | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 自然体験活動の機会が少ない現在の子どもたちにとって、各青少年施設の豊かな自然環境の中で、各施設の特色を活かした自然体験プログラムを経験できることは大変有意義です。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 事務費等の削減に努めています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 当該事業は、子どもたちが自然体験活動や集団生活体験を経験することにより、自然を大切にする心や自立心、規律、協調性などの生きる力を身に付けていくうえで高い効果があるため、今後も野外教育事業を継続していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | チャレンジ100キロ ～歩け北九州っ子 若武者の旅～ | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 104 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 928 | 千円 | 1,157 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|--|---|------------------|---------|------------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 4泊5日の共同生活をしながら、市内の山々の登山を含む全行程約100キロを歩き通すことに挑戦することで、心身ともにたくましい子どもの育成を図ります。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 3月25日(日)～29日(木)4泊5日で事業を実施。市内在住の小学4年生～中学3年生合計102人(男53人、女49人)、ボランティア・市職員等のスタッフ約40人で実施。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 心身ともにたくましい子どもの育成 | - | 心身ともにたくましい子どもの育成 | - | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 長期間、共同生活をしながら登山などの自然体験活動を行うことで、心身ともにたくましい子どもの育成を図ります。 (最終目標と最終年度) | | | | | | |
| | 参加者数 | 99 人 | 100 人 | 101 人 | 順調 やや遅れ | 順調 | |
| 自然・集団体験事業の有益性に対する市民(特に保護者)の理解度を示す指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 100人(毎年度) | 101.0 % | | | | | | 遅れ |

| 【Check】評価(分析) | | |
|---------------|----------------|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 毎年、たくましい北九州っ子が誕生していることはもとより、子どもの自然体験や集団体験の有益性を啓発する事業としても大変効果が高いものです。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 経費を削減し、平成22年度から参加費を減額(15,000円 13,000円)しました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 青少年施設(たしる少年自然の家、かぐめよし少年自然の家、もし少年自然の家、玄海青年の家、児童文化科学館、夜宮青少年センター)と青少年課による連携事業として実施することが効率的であり、また、今後は活動プログラムの充実と実施体制のさらなる効率化を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | |
|-----|---------------|---|---|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 中高生の居場所づくりの推進 | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | 104 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 2,308 (野外教育等推進事業を含む) 千円 | 平成24年度予算額 1,982 (野外教育等推進事業を含む) 千円 | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | | | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|---|---|----|----------|------------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 夜宮青少年センターにおいて、中高生が、気軽に学習やスポーツ、文化活動、仲間との懇談等を行える環境を整えることにより、中高生の居場所づくりを支援します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 夜宮「中高生クラブ」の実施 夜宮中高生講座の実施 ボランティア事業との連携 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 夜宮「中高生クラブ」の参加者数 | 269 人 | - | 687 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 中高生が、気軽に学習やスポーツ、文化活動を行える機会がどのくらい提供されたのかを把握します。 (最終目標と最終年度) | | | | | | |
| | 夜宮中高生講座の参加者数 | 20 人 | - | 11 人 | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |
| 夜宮青少年センターが主催した講座について把握します。 (最終目標と最終年度) | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 「中高生クラブ」については、前年度に比べて参加者数が増加しており、参加した青少年においては、ダンスやスポーツ活動等を行い居場所として有効に機能しましたが、市内の中高生全体を対象と考えた場合は、さらなる充実のための検討が必要です。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 「中高生クラブ」では、夜宮青少年センターを開放して中高生の利用に供していますが、さらに有効活用できるよう自主事業である中高生講座の実施や、センターの周知に努める必要があります。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| <p>中高生クラブ及び中高生講座の周知を行い、幅広く提供するとともに内容の充実を図ります。</p> <p>コミュニティに整備する(仮称)「ユース・ステーションくろさき」(平成25年度開設)との連携について検討します。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 福祉・ボランティア教育用副読本の作成 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 104 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 保健福祉局 |
| | | 2,269 | 千円 | 6,487 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 総務課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|---|--|--|--------|------|------------|---|------------------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 小中学生が、地域社会の一員であることを理解し、他人を思いやる心やボランティア精神を育むことができるように、教育委員会や関係団体等との協働により、福祉・ボランティア教育用副読本を作成し、市内の国公立の小・中・特別支援学校へ配布します。 | | | | 活動実績 | 平成24年度版福祉・ボランティア教育用副読本(小学生用、中学生用、中学生用指導書)の作成・配布 | |
| 活動計画 | 福祉・ボランティア教育用副読本(小学生用、中学生用、中学生用指導書)の作成・配布 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | |
| | 配布学校での授業中の使用率 | | | | 80 % | 70 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 学校での活用が副読本の作成目的であるため、副読本を授業等で使用する市内の小・中・特別支援学校の年間割合を活動指標とします。(22年度は未把握) | | | | | | | |
| | (最終目標と最終年度) 80%以上 / 平成26年度 | | | | | | 順調 | 順調 |
| (最終目標と最終年度) | | | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | |
|---------------|----------------|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | <p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>予定通り、平成24年度版小学生・中学生用副読本・中学生用指導書を作成、平成24年3月末に市内の全小中学校、特別支援学校に配布しました。なお、小学校では約8割が活用したのに対し、中学校では6割弱とやや低く、学習時間が確保できないなどの理由から生徒への配布のみにとどまっている学校が3割みられました。</p> <p>一方、活用した学校の意見では、「調べ学習の資料として扱いやすい」、「発問が適切である」など概ね肯定的な意見が多く、9割以上の学校が「学習効果があった」と回答しており、福祉・ボランティア学習の教材として一定の評価を得ているものと考えます。</p> |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | <p>「同じ成果をより低いコストで」、「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> <p>副読本の全面改訂は6年に一度にとどめるほか、企画コンペによる委託業者選定や副読本のページ数を減らすことでコストを抑えながら、内容の充実に努めています。</p> |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>福祉・ボランティア学習の教材としてさらに多くの学校で副読本を活用してもらうために、内容の見直し等を行いながら、引継ぎ小中学生用副読本及び中学生用指導書を作成・配布します。</p> <p>また、「授業時数の確保が困難」などの現場の課題を念頭に、教育委員会の連携協力のもと、福祉・ボランティア教育の実践にあたって更に活用しやすい教材の検討や方策の見直しに取り組みます。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|-----------|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 夏休み！こどもバスぽ～と | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | 104 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | 平成24年度予算額 | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 交通局 |
| | | - 千円 | - 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 総務経営課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|---|---|---|-----------------|---|----------------|------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 子どもの社会参加、自立、自主性の育成に貢献するとともに、子育てに対する保護者の経済的負担や送迎の負担を軽減するため、夏休み期間中に小・中学生向けに、1日乗車券の料金（小学生350円、中学生700円）で、7日間市営バスの全路線乗り放題の乗車券を発売します。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 事業の継続実施 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 発売枚数 | | 発売件数：423件 （内訳） 小学生：222件 中学生：201件 | 発売件数： 1,000件 | 発売件数：386件 （内訳） 小学生：207件 中学生：179件 | 38.6 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 発売枚数が、利用者の満足度のスケールとなるためです。 （最終目標と最終年度） 1,000枚 平成26年度 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| （最終目標と最終年度） | | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 少子化の影響や利便性・安全面からのマイカーへの回帰等により、発売枚数は減少傾向となっています。また、乗車券を発売することによって、子どもの社会参加、自立、自主性の育成等に貢献しています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 経費はほとんどかからないので、経済性・効率性は高いと考えます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 有効性を発揮しており、現状のまま継続することが適当であり、今後も積極的にPRを行います。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-------|-------|
| 事業名 | 家庭・地域・学校の連携推進 | | | | | | | 掲載ページ | |
| | | | | | | | | 104 | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 教育委員会 |
| | | 3,322 | 千円 | 3,789 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 生涯学習課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|--|----------|----------|----------|-----------|----------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 子どもの健全育成には、学校での学習だけでなく、仲間との遊びや世代間交流、様々な生活体験などが不可欠です。しかし、少子化や核家族化などにより現代の家庭環境の中では、その機会を十分に確保することが難しくなっています。そこで、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校等が連携して、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 少子化や核家族化が進展する中で、家庭の中だけでは経験できないさまざまな体験活動の機会を子どもたちに提供することは有意義であるため、引き続き地域の協力を得ながら、その機会の充実に取り組んでいきます。「地域・子ども交流事業」については市が直接実施し、「生活体験通学合宿」「生き生きバリアフリー」については、実行委員会に委託して実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 |
| | 市民センターでの子ども交流事業や体験活動事業への参加者数 | | 62,111 人 | 60,000 人 | 60,659 人 | 101.1 % | 大変順調 |
| | 代間交流やさまざまな体験活動の機会等を提供する事業を市民センターで実施します。毎年、参加者数が1,000人ずつ増加することを目標としました。 （最終目標と最終年度）25年度 62,000人 | | | | | | |
| | | | | | | | 大変順調 |
| （最終目標と最終年度） | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 市民センターにおいて、「地域・子ども交流事業」（129館、延べ56,384人）、「生活体験通学合宿」（4館、延べ522人）、「生き生きバリアフリー」（6館、延べ3,753人）を実施し、ほぼ目標どおりの参加者数でした。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 適宜、国の補助金を活用するとともに、地域の人材やボランティアの協力を得ながら、多様なプログラムを実施しました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 子どもの生きる力をはぐくみ、心豊かでたくましい子どもを育てるため、家庭・地域・学校が一体となった取り組みについて、見直す方向で検討を進めます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 児童健全育成ボランティア推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 105 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 3,286 | 千円 | 3,350 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 子育て支援課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|---|---|-------|--------|---------|------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 児童館における児童健全育成活動や子育て支援活動をより充実し、地域全体に広げていくために、児童館を拠点として活動しているボランティア組織「みらい子育てネット(母親クラブ)」の活動を支援し、その充実を図ります。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 「みらい子育てネット」の活動を支援し、児童健全育成活動や子育て支援活動を充実させます。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 | |
| | 「みらい子育てネット」の活動への支援 | | | | | | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 「みらい子育てネット」の活動を支援し、その活動内容の充実を図ります。 (最終目標と最終年度) | | | | | 大変順調 | | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | | 順調 やや遅れ | 順調 | |
| (最終目標と最終年度) | | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 「みらい子育てネット」15クラブにおいて、公園の安全点検や児童館での絵本の読み聞かせ、紙芝居、児童館まつりなどを実施しました。地域の子育て世代から感謝の声が聞かれ、地域活動の推進に寄与しています。有効性の高い取り組みと考えています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 市からの支援を利用し、効率性が高い活動を行っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 引き続き「みらい子育てネット」への支援を行い、児童健全育成活動や子育て支援活動の充実を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 子ども会等地域活動推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 105 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1,295 | 千円 | 1,243 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--|--|---|-----------------|--------------------|------------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 子どもの地域での活動を活性化するため、地域で子どもたちが活動し成長する環境づくりや、そのような活動に携わる市民への支援を行います。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 遊びの達人派遣事業や出前講演を着実に実施することにより、子どもの地域での活動の活性化を図ります。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 遊びの達人派遣事業参加者数 | | | | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 地域での子どもの活動の活性化を図ります （最終目標と最終年度） | 3,528 人 | 4,000 人 | 4,013 人 100.3 % | | | |
| | 出前講演参加者数 | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |
| 地域での子どもの活動の大切さの啓発を行う出前講演に参加した市民の数を指標としました （最終目標と最終年度） | 400 人 | 500 人 | 265 人 53.0 % | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 遊びの達人派遣事業による子どもの活動の活性化や、出前講演による啓発は各団体などから高い評価を得ています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 事務費等の事業費の削減に努めました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 遊びの達人派遣事業や出前講演などで、子どもの地域での活動を活性化させる啓蒙活動を着実に実施していきます。また、子ども会をはじめ地域での子どもの健全育成を図るさまざまな団体を広く支援していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 遊びの広場促進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 105 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1,014 | 千円 | 1,277 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|--|--|-------|------------------|------------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 市内の団体グループが実施する子どもの体験活動の中から、他のグループの参考になる事業に対して補助金交付等の支援を行い、異年齢集団活動や自然体験など子どもの主体的な体験活動を促進し、子ども会をはじめとした青少年育成団体などの活動を活性化を図ります。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 遊びの広場促進事業の広報および要項・要領・運営指針の見直しを図ります。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 助成団体数 | | | | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 予算内において補助金上限額で交付した場合、最大10団体 （最終目標と最終年度） 10団体（毎年度） | 7 団体 | 10 団体 | 10 団体 100.0 % | | | |
| | | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |
| | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 他の団体に対するモデルケースとなるような成功事例や行政の事業施策の参考となるような事例も出てきており、当該事業の有効性は極めて高いものがあります。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 有識者による選考検討会で、補助対象や補助金額等を厳正に審査した結果に基づき補助金を交付しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 近年、既存の青少年育成団体加入者数は減少傾向にある一方、既存の青少年育成団体に加入せず各地域において多様な青少年育成活動を行う団体が増加傾向にあります。このため、このような地域団体の活動も支援していく必要があるため、今後とも制度の周知や成功事例報告を積極的に実施していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 青少年団体指導者養成総合事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 105 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|--|--|----|---------|------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 子ども会等の青少年団体において指導にかかわる人や、子どもの育成活動に関心を持つ人等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修等を行います。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 平成22年度をもって事業統合(「社会体験を通じた青少年健全育成のための新たな仕組みづくり」に統合)。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | | | | | 順調 | | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>今後は、青少年体験活動等活性化事業の中で、青年リーダーの育成事業や青少年の体験活動の推進に向けた新たな仕組みづくりを図る事業と併せて、より効果的な実施を目指します。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 青少年団体育成補助金 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 106 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 5,897 | 千円 | 6,282 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|--|----|------------|----------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 青少年の健全育成や非行防止活動を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して、補助金を交付し支援します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 各団体の事業計画等を精査し、補助金を交付。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 青少年育成団体に対する活動促進のための支援団体数 | 365 団体 | - | 321 団体 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 青少年育成団体の活動を支援します。 （最終目標と最終年度） | | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 青少年育成団体への事業補助により、各団体の健全な運営が保たれている結果、市内における青少年の健全育成活動や非行防止活動の推進が図られました。また、行政が主催する事業への協力も得られるなど、民間と行政の協働による青少年健全育成の推進が図られています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 従前より、各青少年育成団体の事業実態を踏まえ、補助金がより一層効果的に利用されるよう指導しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 青少年育成団体が健全に運営されることは、青少年の健全育成を図るうえで最も大切なこととなるため、今後とも当該事業をより経済的・効果的に継続する必要があります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 北九っ子！パワーアップ大作戦 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 106 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 7,927 | 千円 | 8,050 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | スポーツ振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|--|---|-------|--------|------------------|------------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 全国体力・運動能力等調査において、本市の小・中学生の平均は多くの種目で全国平均を下回りました。その原因として、子どもたちが活動する場所や機会の減少、保護者の運動・健康の重要性の認識不足があげられます。また小学校高学年から、運動する子としない子が二極化する傾向にあります。そこで、子どもたちが早期から運動に親しむ習慣を身につけるきっかけづくりと、保護者への啓発に重点をおいて事業を展開し、子どもの体力向上を図るものです。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | H22年度の参加者から得られたアンケート結果を反映し、H23年度事業に活用していきます。また、運動しない子どもや運動嫌いな子どもとその保護者に対し、いかにアプローチしていくかを重視し、そのために運動プログラムの構成について教育委員会指導指導二課と、子どもの発達段階に応じた正しい食育指導を行うために子ども家庭局子育て支援課と連携して事業を進めていくこととし、子どもの運動習慣の定着や体力の向上について、幅広い視点から取り組んでいきます。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 親子で遊ぼう！パパ・ママ・キッズの実施回数 | | 8 回 | 9 回 | 11 回 122.2 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 未就学児の子どもを対象に、体力向上・健全育成のためのきっかけづくりを行うとともに保護者に対しては、食育を通して子育ての啓発を行っていく「親子で遊ぼう！パパ・ママ・キッズ（委託事業）」を実施します。 （最終目標と最終年度）平成26年度までに11回 | | | | | | |
| | ジュニアスポーツ体験教室の実施回数 | | 140 回 | 140 回 | 140 回 100.0 % | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 |
| 小学校低学年の児童を対象に、体を動かすことの楽しさを体験させ、生涯を通じて運動・スポーツに親しむきっかけづくりを行う「ジュニアスポーツ体験教室（委託事業）」を実施します。 （最終目標と最終年度）平成26年度までに140回 | | | | | | | |

| 【Check】評価（分析） | | |
|---------------|----------------|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 限られた予算のなか、「幼少期の子どもと保護者」「小学校低学年」「小学校高学年～中学校」の時期にそれぞれ適応した事業を効率よく実施することができました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 「親子で遊ぼう！パパ・ママ・キッズ」の委託事業者は、市内の総合型スポーツクラブやNPO法人の中から企画コンペにより選定しています。提案プログラムの内容だけでなく実施回数や費用対効果の項目を採点基準に盛り込んでおり低コストで有効な教室が実施できています。また「ジュニアスポーツ体験教室」は、各種スポーツ指導に高いノウハウを有した各区の総合型スポーツクラブに委託しています。各クラブが拠点としているスポーツ施設や学校施設を利用することで、低コストで有効な教室が実施できています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 今年度どおり、委託業者による提案を継続しより良いプログラムを実施していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 106 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 4,340 | 千円 | 4,459 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | スポーツ振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 | |
|-------------|--|--|---------|------------------|--------------------------------|----------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。多世代、多種目、多志向を特徴とし地域住民により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものです。本市における成人の週1回のスポーツ実施率の向上のためにも、果たす役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの会員数拡大を目指します。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 総合型地域スポーツクラブの会員数増加のためには、市民にとってクラブへの入会を魅力あるものにする必要があります。広報・PR強化のみではなくクラブの質の向上を図るため、交流事業や勉強会を定期的に開催し、指導者の充実やクラブを円滑・安定的に運営できる人材の育成等に努めます。 | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 1,940 人 | 2,000 人 | 2,059 人 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調 | |
| | スポーツをする人、支える人など市民のスポーツへの関わりが表れている総合型地域スポーツクラブの会員数を指標とします。 （最終目標と最終年度）平成32年度までに4,000人 | | | 103.0 % | | |
| （最終目標と最終年度） | | | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動の結果、昨年度より会員数が約10%増加していることから概ね順調に推移していると判断しました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 本事業は施策に対する有効性も高く、地域住民が出し合う会費や寄附により自主的に運営される総合型地域スポーツクラブを支援することは、「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」を効率的に推進していく上で重要な事業であると考えています。今後、クラブの運営・事業にスポーツ推進委員などが多く参加できる仕組みづくりを検討することなどにより、地域の活動促進及び経費節減を図ります。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 現存する総合型地域スポーツクラブの質の向上に向けた支援を行うとともに、新規クラブの設立支援及び広報・PR活動を強化する。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | ドリームスポーツタウン推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 106 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 9,581 | 千円 | 9,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | スポーツ振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|--|--|---------|---------|---------|-----------|------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | Jリーグ2部（J2）で活躍する「ギラヴァンツ北九州」の選手やコーチングスタッフが市内の小中高生等を対象として、サッカーの実技指導を行い、青少年の健全育成やサッカー技術の向上を図ります。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 青少年があこがれる、プロスポーツ選手から直接指導を受けることで、健全育成や技術力向上を図ります。サッカー競技者の底辺からのレベルアップを図る「サッカー巡回指導」とトップアスリートの育成を支援するため実戦形式で指導する「サッカークリニック」を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 |
| | サッカー巡回指導を受けた小中学校の生徒数 | | 3,690 人 | 3,500 人 | 3,701 人 | 105.7 % | 大変順調 |
| | より多くの青少年が、プロの選手等から直接、技術指導を受けることで、健全育成や技術力向上を図ることを目的とするため。 （最終目標と最終年度）平成32年度までに4,000人 | | | | | | |
| | サッカークリニックを受けた高校・大学の選手数 | | 374 人 | 400 人 | 200 人 | 50.0 % | 順調 やや遅れ 遅れ |
| より多くのチームが、指導を受けることで、本市の競技レベルの向上を図ることを目的とするため。 （最終目標と最終年度）平成32年度までに300人 | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 指導を受けた学校やチームの指導者からは「技術」だけでなく「取り組む姿勢」の向上が見られたとの声があり、有効な施策だったと分析しています。ただし、サッカークリニックについては、対象者が限定されてくるため、見直すこととします。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 本事業は、プロ選手を有するという条件から、チーム運営会社への特命随意契約となっていますが、定期的に活動内容を見直し、対象をより低学年に広げるなど、経済性や効率性を高めていく取り組みを行っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>今後は、他のスポーツとの連携などによりスポーツの裾野の拡大に取り組みたいと思います。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | わくわく体験スポーツ教室 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 106 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 19,489 | 千円 | 20,864 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | スポーツ振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 |
|----------|--|--|-------|----------------|--------------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 近年、テレビゲームなどの屋内遊具の発展・普及により、青少年の運動不足が懸念されており、特に冬期には屋外での運動が減少する傾向にあります。そこで、冬期のスポーツとしてのバランス感覚や柔軟性の向上に最適なアイススケート教室を学校授業の一環として実施し、青少年の健全育成と生涯スポーツの振興に役立てるものです。 | | | 活動実績 |
| 活動計画 | 平成22年度同様、小学校低学年（1、2年生）を対象に全校実施を行う。コスト面で有効であったバス送迎業務の入札など継続的に取り組んでいく。 | | | 活動指標は下記のとおりです。 | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 |
| | スケート体験実施小学校数 | 131 校 | 131 校 | 131 校 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調 |
| | 冬期スポーツを体験することで、運動の興味を高め、意欲の向上を図ります。 （最終目標と最終年度）平成26年度までに131校 | | | 100.0 % | |
| | | | | | 順調 |
| | | | | やや遅れ | |
| | | | | 遅れ | 順調 |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 教室の実施後、多くの児童がリピーターとしてスケート場に来ているとの報告がありました。学校の授業として小学生1,2年生全員に体験させることにより、余暇を利用しスケートをするなどの意欲が生まれ、効果が高かったと考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | バス送迎業務を入札にすることで、低いコストで実施できています。また、スケート教室には十分な経験を持つ指導者をお願いしており、効果的な指導が実施できています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|----------------------------------|
| 今年度同様コスト削減に努めながら事業を実施していきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 学校施設開放事業(旧:学校開放事業) | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 107 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 教育委員会 |
| | | 36,976 | 千円 | 43,096 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 生涯学習課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|---|---|-------|--------|---------|-----------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 学校教育に支障のない範囲で小・中学校の施設を市民に開放し、地域スポーツの普及及び児童の安全な遊び場として、地域の協力を得ながら、市民の利用に供することにより、地域社会全体が教育を支える社会を実現します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 本事業は、文科省の補助事業(1/3補助)を活用しながら市が直接実施しており、今後も学校教育活動に支障のないよう積極的に学校施設開放を推進します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 |
| | 遊び場開放事業指定校数 | | 128 校 | 130 校 | 128 校 | 98.5 % | 大変順調 |
| | 小学校の運動場又は体育館を該当小学校の校区内の児童の遊び(児童の団体が行うスポーツを含む。)の場として開放します。学校の教育活動に支障のない範囲で施設を開放する事業のため、最終年度を示すことは困難です。 (最終目標と最終年度) 市内130校全ての学校で実施します。 | | | | | | |
| | スポーツ開放事業指定校数 | | 182 校 | 192 校 | 182 校 | 94.8 % | 大変順調 |
| 小学校又は中学校の運動場又は体育館を成人及び勤労青少年の団体が行うスポーツの場として、中学校の武道場を成人及び青少年の団体が行う武道の場として開放します。学校の教育活動に支障のない範囲で施設を開放する事業のため、最終年度を示すことは困難です。 (最終目標と最終年度) 市内192校全ての学校で実施します。 | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 地域スポーツの振興や周辺住民の生きがいづくり及び児童の安全な遊び場としての機能を発揮するとともに、少年少女の団体スポーツも盛んに行われており、青少年の健全育成に貢献していると考えています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 国の補助金を活用し、管理指導員として地域の人材に活躍いただくことで、地域の教育力を高めながら効率的、効果的に推進していると考えています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 周辺住民や利用者との調整を図るとともに、土曜日授業の動向を踏まえながら、引き続き学校教育活動に支障のない範囲で小中学校の施設を市民に開放します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-------|-----------|
| 事業名 | 夏休み子ども文学館開催事業 | | | | | | | 掲載ページ | |
| | | | | | | | | 107 | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 3,265 | 千円 | 6,623 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 文学館 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|----------|--|---|-------------|----------------|------------------|------------------------|---|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 夏休み期間を利用して子どもを対象とした企画展、イベント、作品募集などを開催し、文学館の利用を促進するとともに、子どもの読書・創作活動の意欲を高め、豊かな感性を培うことを目的とします。子どもたちに魅力のある企画展の開催と、PR活動の工夫を行い、利用客の増加を図ります。 | | | | 活動実績 | 関連イベントとして、原爆・戦争をテーマとした講演会を開催した結果、親子での来場者が増えました。 | |
| 活動計画 | 平成23年度はこれまでと違い、原爆・戦争をテーマとし、子どもだけでなく親子で考える企画展を実施します。あなたにaitakute生まれてきた詩コンクールは第2回目となるため、近隣市町村へも広報を行い、応募者数増加を目指します。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | | |
| | 夏休み企画展 関連イベント開催件数 | | | | | | | |
| | 企画展をさらに楽しむとともに、来館者を増やすため、関連イベント（講演会等）の開催件数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度） | 4 回 | 3 回 | 6 回 200.0 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | | |
| | 詩コンクールの広報 詩コンクールの応募者増、市外からの応募者増を図るため、積極的な広報活動を行います。 （最終目標と最終年度） | | 積極的な広報活動の実施 | | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 夏休み企画展として原爆・戦争をテーマにした展示会を開催し、子どもだけでなく大人の新規来館者も集め、昨年度と比較し1500人以上来館者が増加しました。詩のコンクールは、応募数は昨年度より減少しましたが、市外からの応募もあり、少しずつ認知されてきています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 子どもたちの関心、興味を引く展示・企画を行うために、毎年異なる企画を実施しています。そのため、年度によって開催経費が増減しますが、より無駄な支出を抑え、子どもたちがより興味を持つ展示会を実施できるよう内容を検討していきます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 子どもたちの関心をひくような企画展・関連イベントを実施します。また、昨年度に引き続き詩のコンクールも実施します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 子どもたちの文化体験事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 107 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 10,722 | 千円 | 17,172 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 文化振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--|---|--|---------|---------|------------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 文化体験を通して、子どもたちの豊かな情操を養うとともに、芸術文化に対する関心を高め、未来の文化の担い手として育成します。平成21年から開催されている「北九州市子どもノンフィクション文学賞」を継続して実施し、子どもたちが人間・社会への関心や思考力を高めながら成長していく契機とします。また、学校訪問コンサートでは、アーティストが直接学校に出向いて生の音楽等を提供します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 平成21年から開催されている「北九州市子どもノンフィクション文学賞」を継続して実施し、子どもたちが人間・社会への関心や思考力を高めながら成長していく契機とします。また、学校訪問コンサートは、アーティストが直接学校に出向いて生の音楽等を提供します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | |
| | 北九州市子どもノンフィクション文学賞への市内からの応募数 | 858 編 | 900 編 | 916 編 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 子どもたちが自身の体験を通して、ノンフィクション分野の文学にふれる機会となる「北九州子どもノンフィクション文学賞」への市内からの応募数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 900編 平成25年度 | | | 101.8 % | | | |
| | 学校等訪問コンサート参加者人数 | 2,317 人 | 1,800 人 | 1,637 人 | 順調 やや遅れ | 順調 | |
| 学校等訪問コンサートとは、北九州市民文化賞・奨励賞を受賞した芸術家（主に音楽）を小学校等に派遣し、子どもたちに生演奏を聞いてもらうコンサートです。コンサート参加者人数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 1,800人 平成25年度 | 90.9 % | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 第3回目の北九州市子どもノンフィクション文学賞も1回目、2回目に続き、全国各地の子ども達から1,000編を越す多くの作品をご応募をいただき、審査員からの評価も高い力作がそろいました。北九州市から全国の子どもたちへこのような文学賞を発信していくことは、文化の担い手の育成に大きく貢献していると考えます。 学校等訪問コンサートでは、子どもたちが集中して音楽に聞き入っており、また学校の先生からも、普段接することができない生演奏を聞くことができ貴重な経験ができたとの声が多く寄せられました。多くの小学生に参加してもら |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 平成23年度の北九州市子どもノンフィクション文学賞事業の執行においては、広報媒体を厳選する等委託料に係る経費の節減に努めました。現在のところ、他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当だと考えます。 学校等訪問コンサートについては、さらに、外部委託を進めていきます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| <p>【子どもノンフィクション文学賞】 応募内容の分析を行い、より効果的なPR方法を検討し、事業効果を念頭に置きつつ経費削減に努めます。</p> <p>【学校等訪問コンサート】 できるだけ多くの子ども達に触れてもらうため、昨年・一昨年と訪問できなかった学校を中心にコンサートを実施します。また、外部委託を進めていきます。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 子ども文化ふれあいフェスタ | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 107 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 3,321 | 千円 | 3,699 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 文化振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|---|--|---------|--------|---------|------------|----------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 文化体験を通して、子どもたちの豊かな情操を養うとともに、芸術文化に対する関心を高め、未来の文化の担い手として育成します。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 8月下旬に文化団体等が企画したワークショップ等を実施し、芸術文化に対する関心を高めます。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | |
| | 子ども文化ふれあいフェスタ参加者人数 | | 1,015 人 | 680 人 | 1,043 人 | | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 子ども文化ふれあいフェスタへの参加者人数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 680人 平成25年度 | | | | 153.4 % | | | |
| | | | | | | | 順調 | 順調 |
| （最終目標と最終年度） | | | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 子ども文化ふれあいフェスタは、子どもたちが普段接することがあまりないと思われる伝統芸能の分野（日本舞踊、いけばな、琴等）を中心とした、体験型の催事です。実際に体験してもらうことで、その楽しさを実感してもらえました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | ふれあいフェスタについては、当日の運営業務等は外部委託を行い、低コストで実施しています。しかし、高い効果が得られるようにさらに、工夫する余地はあります。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 企画内容等を工夫しながら、事業の見直しを行い、事業目的の実現に向けて取り組んでいきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | |
|-----|----------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----------|
| 事業名 | 少年少女合唱団・ジュニアオーケストラ育成 | | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | | 108 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 |
| | | 13,444 | 千円 | 14,792 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 |
| | | | | | | | | 市民文化スポーツ局 |
| | | | | | | | | 文化振興課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|--|---|--|-------|--------|----------------|-----------|------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 北九州市少年少女合唱団、北九州市ジュニアオーケストラの活動を通じて、合唱技術や演奏能力の向上並びに団員相互の親睦を深め、情緒豊かな青少年を育てるとともに、市民文化の高揚を図ります。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 【北九州市少年少女合唱団】地域の音楽文化を担う演奏家の育成と活躍の場を広げるため、定期演奏会やサマーコンサートを実施します。 【北九州市ジュニアオーケストラ】情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図るため、定期演奏会やスプリングコンサートを実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 |
| | 北九州市少年少女合唱団の団員数 | | 58 人 | 90 人 | 100 人 | | 大変順調 |
| | 北九州市少年少女合唱団に在籍している人数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 90人 平成25年度 | | | | 111.1 % | | |
| | 北九州市ジュニアオーケストラの団員数 | | 116 人 | 110 人 | 115 人 | | 順調 やや遅れ |
| 北九州市ジュニアオーケストラに在籍している人数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 110人 平成25年度 | | 104.5 % | | | 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 2団体とも定期演奏会に加えて、市内イベントに出演し、音楽を楽しむ機会を提供することができました。その過程において、異年齢の団員との活動の中で、合唱や演奏を通して自主性や協調性等を学ぶとともに、情操豊かな人間形成と音楽文化の高揚を図ることができました。練習活動を通じて、情緒豊かな青少年を育てることを目的にした本事業は、施策目標「芸術・文化の担い手の育成」に対する有効性は高いものと考えられます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 本事業は市の外郭団体が行っており、市が直接運営するより、コスト面で効率的な運営ができています。ただし、短期的な成果が見えづらいため、目的と効果を検証しながら、事業を実施する必要があります。本市において、本事業のように大規模かつ計画的、総合的に実施している民間団体は存在せず、市が関与することは適切であると考えられます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 新たな団員の獲得を図りながら、定期演奏会に向け、レベルの高い音楽活動を行うことで「青少年の健全育成」を図っていきます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|---------|
| 事業名 | ジュニアマイスター養成講座 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 108 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 1163 | 千円 | 1651 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 児童文化科学館 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|--|---------|-------------------|---------|------------------------|---|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 子どもたちに科学体験やものづくりを通して、北九州市の産業を支える技術者が築き上げた「ものづくり」の精神を伝え、新しい時代を切り開く科学技術の根幹となる「科学がすき、ものづくりがすき」な子どもたちの育成を図ります。 | | | | 活動実績 | 下記活動指標の実績以外にも活動実績がある場合は、記入してください。ない場合は「活動結果は下記のとおりです。」など記入してください。 |
| 活動計画 | 事業の目的達成に向け積極的に科学普及やものづくりの普及活動を推進 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 参加者数 | 7,457 人 | 8,000 人 | 7,656 人 95.7 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 科学実験・科学工作等の参加者の増加が、その普及活動の拡大を示すものであることから活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 8,000人（26年度） | | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 各教室、講座への参加人数は順調に推移しています。科学の普及を目的とし、子ども達の興味関心を引き出すため、各種の教室、講座を実施しています。毎回定員を超える応募があります。高等教育機関や企業の協力、サイエンスレンジャー、外部講師による科学実験や工作を実施し、参加者からは毎回好評を得ています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 抵抗コストでより市民に喜ばれるような教室、講座を毎回計画し実施しています。例えば廃材利用や無料講義などですが、これ以上の予算減では教室の削減や内容の簡素化になり、市民の要望に最低限応えることはできません。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 今後とも目標達成に向け（8,000人）より魅力的な事業を計画し、実施します。年間を通して多くの市民の参加を得るためには、PR活動が必要です。科学分野について言えば、生物に関する教室を新しく設け、子ども達のニーズに応えていきます。また、来館者の少ない冬季はPRにさらに力を入れます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | こども文化パスポート | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 108 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 教育委員会 |
| | | 4,626 | 千円 | 4,630 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 企画課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|--|--|----------|-------------------------------------|--|--------------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育むとともに親子のふれあう機会を増やすことを目的として、夏休み期間中、文化施設をはじめとする様々な施設に無料（一部割引）で入場できるパスポートを子どもたちに配布します。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 本事業の参加施設に対し実施したアンケートの結果を踏まえ、施設側にとってはより運営しやすく、利用者側にとってはより参加しやすいパスポートを作成します。本事業の施設説明会やPRは市が実施しますが、パスポートの作成・配布については、委託で実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 利用者数 当事業に対するニーズや適切な運営状況を反映するものとして、当指標を設定しました。 目標を15万人と設定していましたが、ここ数年の利用者数の実績から、10万人（配布対象者の7割）に変更しました。 （最終目標と最終年度）配布対象者の7割 | | 86,000 人 | 103,600 人 | 91,000 人 87.8 % | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調 | |
| | 参加施設の意見（アンケート調査） 参加施設の事業効果を把握するため、当指標を設定しました。 （最終目標と最終年度） | | 実施 | 本事業が施設のメリット（来館の契機、施設の魅力の周知）につながることに | 来館の契機となった、市外への施設周知にもなった等、概ね満足の評価を得ています | 順調 やや遅れ 遅れ 順調 | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | パスポートは約148,000人の対象児童生徒等全員に配布するとともに、市政だより・ホームページ等で参加を促しました。夏休み期間中に概ね6割が利用し、多くの子どもたちが様々な地域の文化や歴史などに触れ、豊かな心を育むきっかけづくりになっています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 本事業内でより多くの施設を訪問する工夫をすることにより、パスポートを契機とした入場者数増加の効果がありません。なお、下関市・長門市・北九州都市圏広域行政推進協議会も事業費を応分負担しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 現状の予算内で施設を巡る仕組み（スタンプラリー等）や特典（一定数の施設を訪問した対象者に応募の権利がある抽選賞品）などのサービスを維持しつつ、今後も利用者にとって利便性の高い事業にしていきたいと思います。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----------|
| 事業名 | わくわくアートミュージアム事業 | | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | | 108 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 |
| | | 3,544 | 千円 | 3,952 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 |
| | | | | | | | | 市民文化スポーツ局 |
| | | | | | | | | 美術館普及課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|--|--|-------|--------|----------------|-----------|---------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 美術館が教育機関及び保護者との連携を強化し、子どもたちの美術に親しむ態度を育てるための様々な取り組みを行い、子ども達を将来の地域文化の担い手に育てます。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 小中学校及び保護者と連携して、美術鑑賞教室や子ども向けワークショップ(チャレンジアートミュージアム・サマーアートミュージアム)などを実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 |
| | 美術鑑賞教室の実施回数 | | 36 回 | 40 回 | 37 回 | 92.5 % | 大変順調 |
| | 小中学校と連携した学習プログラムの充実・強化を図ります。 （最終目標と最終年度） | | | | 8 回 | | |
| | 子ども向けワークショップの実施回数 | | 12 回 | 10 回 | | | |
| 「チャレンジアートミュージアム」を展覧会に合わせて開催するほか、夏休みには「サマーアートミュージアム」を実施します。 （最終目標と最終年度） | | | | | | | 順調 |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 小中学生の美術鑑賞教室、館内授業など、学校との連携事業は年々定着してきており、順調に参加者が増加しています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 美術鑑賞教室の解説に美術ボランティアを起用するほか、各種ワークショップでは美術館サポーターを参画させてマンパワーを充実させています。また、「たんけんパスポート」の利用促進については、小中学校と連携しながら保護者向けのPRの強化を目指しています。以上、美術館の持つ、学芸員の専門性を活かしながら市民参画や学校との連携を強化し、経済性と効率性を意識しながら事業を実施しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 「たんけんパスポート」について、平成23年度は使用対象の展覧会を企画展のみとしていましたが、平成24年度からはコレクション展と企画展を対象とし、使用する機会を増やします。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------------|
| 事業名 | 博物館セカンドスクール事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 109 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 市民文化スポーツ局 |
| | | 2,450 | 千円 | 2,713 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 自然史・歴史博物館普及課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|--|--|----------|----------|------------|-----------|--|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 博物館を第二の学校（教室）としてとらえ、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動を胸に理科・社会科への学習の意欲を持たせる仕組みづくりを行うため、(1)博物館への誘致事業、(2)学校教育支援事業、(3)家庭教育支援事業、の3つの柱をかけた、学校教育現場と博物館の結びつきを強めます。 | | | | 活動実績 | 「環境修学旅行」が前年度3団体から8団体に増加するなど、誘致活動の成果がありました。 | |
| 活動計画 | 修学旅行、社会見学、総合的な学習の時間としての博物館利用ガイドブックを改定するとともに、市外学校、団体の修学旅行等の誘致に向けた活動を行います。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | | |
| | 学校団体の誘致数 | | 1,116 団体 | 1,000 団体 | 1,145 団体 | 114.5 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 博物館を訪れる学校団体を増やすため、誘致活動を行い、来館者数の確保に努めます。 （最終目標と最終年度）H25までに1,000団体 | | | | | | | |
| | | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | | やや遅れ 遅れ | | | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 修学旅行の誘致に繋がる県外の旅行会社を効果的に訪問した結果、新たな地域からの訪問がありました。また、来館した旅行会社等に働きかけたことにより、新規の開拓につながるなど、効果的かつ効率的な誘致活動を実施することができました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 来館状況を分析することで、関係先教育委員会や旅行会社への誘致活動を絞り込み、効率性を高めるよう努めました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 博物館を訪れる学校団体を増やすため、昨年度に引き続き県外の旅行会社等を訪問し、修学旅行等の誘致活動を実施します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | こども環境学習推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 109 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 環境局 |
| | | 2,271 | 千円 | 9,050 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 環境学習課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|-------------|---|---|---------|---------|------------|-----------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 本市の未来を担う子どもたちを対象に環境教育副読本及び環境教育ワークブック「みどりのノート」を作成、配布することで、環境学習を体系的、計画的に実施し、環境意識の高い児童、生徒の育成を目指します。また、こどもエコクラブへの登録呼びかけや活動サポート等を行い、環境学習の機会を提供します。 | | | 活動実績 | 活動結果は、下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | <ul style="list-style-type: none"> こどもエコクラブの推進 環境教育ワークブック「みどりのノート」の配布 環境カードゲームの作成、配布 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 |
| | こどもエコクラブ登録メンバー数 | | 2,297 人 | 3,000 人 | 2,188 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 3才から高校生の子どもたちが、地域の中での主体的な環境学習や実践活動を通じて、将来にわたり環境を大切にす意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践することを目的としたこどもエコクラブに登録し、活動を展開しているメンバー数。 (最終目標と最終年度)3,000人(平成26年度) | | | | 72.9 % | | |
| | | | | | | 順調 | 順調 |
| (最終目標と最終年度) | | | | | やや遅れ 遅れ | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | イベントや広報活動は、年間を通して7回の活動ができ順調であると考えます。広報活動により新規に3団体の加入がありました。新規加入したクラブも夏の交流会やエコツアーなどに積極的に参加しました。 環境カードゲームは、環境イベント等で活用し、たくさんの子どもたちが体験することができました。知名度も上がっていると思います。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 「こどもエコクラブ」は「日本環境協会」が中心となって活動しています。本市は地方事務局として活動しているため事務的な処理は少なく、活動自体もクラブ主体で行うなど効率的に動いています。市としては、夏の交流会や壁新聞教室等を開催したり、エコクラブ便りを作成したり、低コストでお互いの交流が図れており、現状のままの取組でよいと考えます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> みどりのノートの改編 環境教育副読本の改編 こどもエコクラブの広報活動 エコとり物語の出前講座 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 菜の花プロジェクト関連事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 109 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 環境局 |
| | | 1,780 | 千円 | 1,917 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 環境学習課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|---|---|--|-------|--------|-----------------|-----------|------------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 菜の花栽培や菜種の搾油体験等を通じて、市民に「資源循環(菜種 食用油 せっけんやBDF(バイオディーゼル燃料))」や新エネルギーの利用促進につながることを体験し、学んでもらうことで環境意識の向上を目指します。 | | 活動実績 | 活動結果は、下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | <ul style="list-style-type: none"> 菜種の配布、回収 搾油機の貸出、搾油の実演 市民公募型イベント「菜の花プロジェクトin河内温泉」春、秋実施 菜の花プロジェクト補助金交付 廃油ステーションの拡大 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | | 【活動の状況】 |
| | 菜種の回収団体数 | | 31 団体 | 30 団体 | 17 団体 | 56.7 % | 大変順調 |
| | 菜種の播種から収穫まで、地域や市民センター等の施設に関わる市民の目に触れる場所での栽培活動に取り組んだ団体数です。この団体数が増えることで、資源循環をより市民に広く伝えることができると考えます。回収した菜種は搾油の実演に活用します。目標については、小学校区の25%で設定しました。 (最終目標と最終年度)32団体(平成26年度) | | | | | | |
| | 補助金交付件数 | | 5 団体 | 5 団体 | 5 団体 | 100.0 % | 順調 やや遅れ 遅れ |
| 地域や市民センター等市民の目に触れる200㎡以上の土地で、菜の花栽培から菜種油の利用を実施する市民団体・NPO等の自主的な取り組みに対して、補助金を交付した団体の数です。この団体数が増えることで、資源循環をより市民に広く伝えることができると考えます。目標については、平成22年度及び平成23年度予算要求団体数で設定しました。 (最終目標と最終年度) | | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 菜種の回収団体数...17団体(環境学習課、各区役所、環境ミュージアム等)、85kg 菜種の配布団体数...642団体(幼保小中学校、各種イベント)40kg 搾油機の貸出...5回、搾油の実演...2回(菜の花プロジェクトin河内温泉) 「菜の花プロジェクトin河内温泉」の参加者数...春(5/28実施、89名:大人75名、子ども14名)、秋(10/8実施、56名:大人44名、子ども12名) 菜の花プロジェクト補助金交付団体数...5団体(平成23年度事業開始分) 平成23年度は梅雨の時期が早まり、乾燥期間を十分確保 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 菜種を無料配布し、それをもとに行う事業であるためコストを減らすことは困難です。しかし、河内温泉でのイベントについてはNPO団体に委託することで、より効率的に低コストで市民に楽しみながら環境学習に参加していただくことができました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 平成20年度から実施している「菜の花プロジェクトin河内温泉」については、イベント開催による市民への「資源循環」「エネルギーの地産地消」に対する意識向上のきっかけに一定の効果が見られたことから、平成24年度の春(刈り取り)までで終了し、今後は地域の中で菜の花を植える団体・活動を広げることに力を注いでいきます。 菜の花の栽培・収穫・搾油等の一連の活動が資源循環型の社会を築くことにつながるということを広報します。既に活動を行っている団体等においては、市民の目につきやすい場所に菜の花を植えていただくこと等に |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|----|-----------|----|------|--------------------------|-----|---------|
| 事業名 | わくわく農業体験事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 109 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子ども若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 産業経済局 |
| | | 1,504 | 千円 | 2,718 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 地産地消推進課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 |
|----------|---|---|------|---------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 農作業体験等を通じて食の大切さを学ぶ食農教育として、小学生を対象に、農作業体験や作物を育てる体験、農家の話を聞く学習を支援します。 | | | 活動実績 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 農作業体験等の実施件数：毎年15校 | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 |
| | 農作業体験等の実施件数 | 16 校 | 15 校 | 18 校 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 時代を担う子どもたちに作物を育てる体験等を通じて、食の大切さを学んでもらう「食農教育」として、小学生を対象に農作業や作物を育てる体験等を行う「わくわく農業体験」を実施するものです。 （最終目標と最終年度）平成26年度 毎年度15校で実施 | | | 120.0 % | |
| | | | | | 順調 |
| | | | | やや遅れ | |
| | | | | 遅れ | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 小学生を対象にした「わくわく農業体験」では、バケツ稲による「米を育てて収穫する」体験などを目標15校に対し、延べ18校で実施し、976人の児童に「食」と「農」の理解促進を図りました。また、農林水産業と市民との交流という目的に対して、農林水産業への理解促進を図る本事業の取組は、有効性が高いと考えています。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 現行の活動状況は、十分効率的かつ経済的であると考えています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 市民(小学生)に対し、本市農林水産業や地産地消に対する理解を深めてもらい、農林水産業との交流を進める本事業の取組は、農林水産業振興のうえ重要であり、今後も取組を進める必要があると考えています。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|---------|
| 事業名 | 地産地消・学校給食推進事業(旧:地産池消推進事業) | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 109 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 産業経済局 |
| | | 6,560 | 千円 | 7,420 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 地産地消推進課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 | | |
|--|--|---|-----|---------|------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 「食農教育」の実施により、青少年に食を生み出す農業の重要性への理解を深めてもらいます。 | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 農作業体験等の実施件数:毎年15校 学校給食の地場産物(野菜)の割合:品目ベースで40% | | | | | | |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | 【活動の状況】 | | |
| | 農作業体験等の実施件数 | 16校 | 15校 | 18校 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 小学生を対象に農作業や作物を育てる体験等を行う「わくわく農業体験」を実施するものです。 (最終目標と最終年度)平成26年度 毎年度15校で実施 | | | 120.0% | | | |
| | 学校給食の地場産物(野菜)の割合 | 33% | 40% | 33% | 順調 やや遅れ | やや遅れ | |
| 学校給食における地産地消を進めるため、学校給食用食材の供給を促進するものです。 (最終目標と最終年度)平成25年度 40% | 82.5% | | | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 農作業体験等の実施については、目標を達成できました。一方、学校給食用食材の供給割合については、目標を達成できませんでした。その理由は、農家の高齢化等により、市内で生産されなくなった品目が増加したことによるものです。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 現行の活動状況は、十分効率的かつ経済的であると考えています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 市民の「食」への関心が高まるなか、本市農林水産業や地産地消に対する理解を深めてもらい、農林水産業との交流を進める本事業は、農林水産業振興のうえ重要であり、今後も取組を進める必要があると考えています。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | |
|-----|------------------|-----------|-----------|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 市民とともに進める自然環境の保護 | | | | | | 掲載ページ |
| | | | | | | | 110 |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | 平成24年度予算額 | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 建設局 |
| | | - 千円 | - 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 公園管理課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 | |
|----------|--|---------------------------|----|---------|----------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 自然環境の重要性に対する市民意識の啓発を図ります。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | |
| 活動計画 | 自然環境学習施設の拠点としての活用を図ります。 | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 | |
| | 自然観察会等への参加人数 | 9,382 人 | | 9,878 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 到津の森公園、山田緑地、平尾台自然の郷における自然観察会等への参加人数を指標としました。 （個別事業の開催回数目標はあるが、人数の目標は設定していません。） （最終目標と最終年度） | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 |
| | | | | | やや遅れ | |
| | | | | | 遅れ | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|-----------------------------------|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 適切な事業回数を確保できており、市民への普及が順調に進んでいます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 指定管理の導入により、経済性・効率性の向上を図っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|----------------------------------|
| 今後も各有料公園の特徴を生かして魅力的な事業の実施を目指します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 長野緑地「市民参加による農業体験教室」 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 110 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 建設局 |
| | | 2,600 | 千円 | 2,600 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 公園管理課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | |
|----------|--|---|------|----------------|------|------------------------|----------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 長野緑地ではその計画テーマとして「自然と人を育む、体験交流公園」を目指しています。当事業では平成15年度に完成した「学習用田圃」の効率的な管理運営として、また、計画地の買収済区域等の暫定的利用の一手法として、市民が農作業を通して自然環境について体験学習する「農業体験教室」を行います。それにより公園計画地を有効活用するとともに、里山・里地としての農村景観の維持を図っていきます。 | | | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 農業体験教室は自然相手の事業であり、毎年自然条件が異なる中で、最善を尽くして事業を進めていきます。地元の団体や幼稚園、小学校と連携して活動を行います。農業体験を行うことで、自然に親しむ機会を与え、食への関心、家族や友達が一緒に作業する喜びやふれあいが得られることを期待しています。事業の実施はNPO法人長野美し村計画実行委員会に委託しています。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | |
| | 市民参加による農業体験教室の実施 | 71 回 | 50 回 | 37 回 74.0 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 基本的な野菜作り、土になじむことを目的としたサツマイモの作付け、芋ほりや水田でのもち米の田植え稲刈り等を行い、収穫物の試食会を開催します。ひまわり、コスモスの種をまきを行い、花畑整備を行います。 (毎年度50回の実施) | | | | | 順調 | |
| | (最終目標と最終年度) | | | | やや遅れ | 順調 | |
| | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 天候に左右される事業であり、平成23年度は活動予定日に雨の日が多く、活動回数が目標を下回りました。しかし平成20年度以降2,000人を超える参加があり、平成23年度は実施回数が減ったものの1,759人の参加が得られ、イベント1回あたりの参加人数も増えているため活動の状況は順調と考えます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 委託している「NPO法人 長野美し村計画実行委員会」の主な構成員は、地元の農業従事者であり、自宅から長野緑地までの距離が近いことや農業用耕作機械等の調達等の面で有利であると考えます。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|--|
| 未整備の既買収地の有効活用を図るとともに、実施回数50回（参加人数年間2,000人）を目標とし、「市民参加による農業体験教室」の発展充実を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 到津の森公園環境学習プログラム | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 110 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 建設局 |
| | | 8,500 | 千円 | 8,500 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 公園管理課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | | 【Check】評価 | | |
|-------------|--|---|---------|------------|-------|-----------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | <p>到津の森公園は、市内の教育関係施設（ほたる館、水環境館、板櫃川「水辺の楽校」、洞海ピオパーク）と連携し、市内の小学生を対象に体験活動を通じた3つの環境学習プログラム（～）と、小学校の先生を対象にしたプログラムを提供します。学習内容は命や環境、自然などいくつかのテーマの中から選択でき、長期学習プログラム（園での通年の総合学習）、1日学習プログラム（園と市内教育関係施設の中から選択した施設、その2施設が連携した学習プログラム）、遠足向け学習プログラム（遠足で園を利用する小学生のための学習プログラム）</p> | | | | | | |
| 活動計画 | <p>到津の森公園と市内4施設が連携し、学習プログラムを実施します。（体験学習の機会の提供） 平成23年度 参加予定校数：45校、参加予定者数：3,500人</p> | | | | | | 活動実績 | <p>参加者数は、前年に比べ増加しており、参加者からは「環境保全や命の大切さを実感した、児童の関心が高まった」という感想が寄せられています。</p> |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | | 【活動の状況】 | | |
| | 到津の森公園環境学習プログラムの参加者数 | 3,446 人 | 3,500 人 | 3,779 人 | 108 % | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | どれだけ多く総合的な学習機会を提供できたかを計るため、「参加者数」という活動指標を選択しました。 （最終目標と最終年度） | | | | | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ 遅れ | | | | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | <p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>参加者数は増加しており、本事業の活動内容が着実に浸透しています。学習プログラムを学校活動に取り入れる学校数も増加しており、有効性の高い活動ができていると考えています。今年度も新たに募集対象を広げるなど、事業目的を達成する工夫を毎年加えていることの効果があがっています。</p> |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> | <p>教育委員会や市内教育関係施設の協力のもと、事業実施の核となる到津の森公園の指定管理者に事業委託しており、低いコストで高い効果を得られています。</p> |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| <p>24年度からは、新しい教科書に対応した新たなプログラム（テーマ：獣医の仕事、獣医と飼育員の違い）を提供し、プログラム内容の充実を図って、参加校数・参加者数の増加を目指したいと考えています。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 環境教育推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 110 | | |
| コスト | 事業費 | 平成23年度執行額 | | 平成24年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 教育委員会 |
| | | 16,507 | 千円 | 23,000 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 指導第一課 |

| 【Plan】計画 | | | | 【Do】実施 | 【Check】評価 |
|---|---|--|-------|-----------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 環境未来都市としての北九州市の独自性を活かし、体験的な学習を通して子どもたちの環境に対する認識を深めるとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成を図っていきます。また、成果等を広く紹介し、学校のみならず、家庭や地域の人々の環境に対する関心や意識を高め、環境保全への実践的な活動が市民全体に広まることを目指します。 | | | 活動実績 活動結果は下記のとおりです。 |
| 活動計画 | 環境首都を目指す本市において、環境保全のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成するために、体験学習の充実を図ります。総合的な学習の時間における「環境体験科」の推進を図ります。北九州市独自の環境教育プログラムの調査研究、作成と普及を行います。 | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | 【活動の状況】 |
| | 環境学習の実施校（環境体験科・エコツアー） | 144 校 | 150 校 | 142 校 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 各施設での子どもの発育段階に応じた体験的な学習プログラムを体験することにより、子どもの環境に関する興味・関心や学習意欲等が高めるようにします。 （最終目標と最終年度） | | | 94.7 % | |
| | 子どもサミット発表校 | 5 校 | 5 校 | 5 校 | 順調 やや遅れ |
| 先進的な取組を行っている小・中学校の児童生徒による、環境保全にかかわる実践発表、意見交換や大人への提言等を行い環境教育を全校・園ならびに広く一般市民に普及させます。 （最終目標と最終年度） | 100.0 % | | | 遅れ 順調 | |

| 【Check】評価(分析) | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 23年度は、これまで実施しているエコツアーの参加希望校が増えるなど、本市、児童生徒が環境教育関連事業等に関心意欲がましました。また、環境教育の推進をさらにはかるため、小学校4年生の総合的な学習の時間の中で市内の環境教育関連施設を見学したり、体験したりする環境体験活動を取り入れた「環境体験科」を実施し、さらなる環境教育推進を図りました。予算枠を超える「北九州エコツアー」の希望校があることや「環境体験科」の全小中学校の実施、「環境首都！サミット」の一般市民を含む参加者数が多いことなどから、学校のみならず、家庭 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 環境局等の他部局の事業を広く学校に紹介するなど、連携を図ることで、経費の削減、効率のアップに努めました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること |
|---|
| 環境学習実施校は、予算の関係で参加校数に限度が出てくるため、参加校数の修正が必要です。また、子どもサミットでの発表校数も教育セミナーの実施規模によって発表校数の限度があるため、目標修正が必要です。そこで、新規事業として、子ども環境リーダーを育成し、環境未来都市に向けた人材づくりに資するため、「北九州市環境キャラバン」を実施します。あわせて、学校が、地球規模の諸問題等に児童・生徒が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、ESDの考えを取り入れた取組に対して、その支援を行う「ユネスコスクール推進事業」を実 |